

# マレーシア サラワク大学におけるgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年08月13日 ～2019年08月24日	マレーシア	マレーシア サラワク大学	・生命科学科 ・学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生28名、TA4名、教員7名 (マレーシア サラワク大学) 学生30名、TA4名、教員7名、職員5名	生命科学科全教員



図1 3Dプリンタ利用方法のデモンストレーション

マレーシア・サラワク大学(UNIMAS)におけるgPBL実施出張報告書:

今年で5年目となったマレーシア・サラワク大学(UNIMAS)とのgPBLを、2019年8月上旬から2週間のスケジュールにて実施した。生命科学コースの学生達10名はUNIMAS資源科学部学生達と協力し「Food Safety(食品安全性)に関する調査実験」というテーマに対して、市場の魚、川の水質を対象として、マイクロプラスチック含有量・付着している細菌類・含有している重金属類それぞれについてフィールドワークの上、実験的に調査した。一方、生命医工学コースの学生達はUNIMAS機械系学科の学生達と協力し「ソーラーエネルギーボートの試作と性能評価実験」というテーマに対して、3DCADを用いた設計と3Dプリンタを用いた部品試作と船の組み立て、そしてその性能評価実験を通じて、モノづくりを体験した。中間発表会と最終発表会では、互いの成果発表とデータ解釈に対する熱心なディスカッションがあり、最終発表会後に優秀チームは表彰された。学生達は、英語を用いてgPBLに取り組む事ができた達成感と、マレーシアの大切な友人を得る事ができたようである。例年恒例となりつつあるが、今年も帰国タイミングお別れ時に学生達の号泣があったそうである。



図2 夕方からのスポーツ交流風景



図3 中間発表会(設計案紹介)



図4 中間発表会(デザイン等紹介)



図5 週末のアクティビティ



図6 週末のアクティビティ



図7 学生達の作品集